

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

健康プロデュース学部は「健康」を教育・研究テーマとし、各学科それぞれの専門家・指導者を育成するため、次のような能力と姿勢を持ち、前向きに取り組む学生を求めます。

- ◆ 基礎的な学力があり論理的な思考ができる者
- ◆ 他者との良好なコミュニケーション・人間関係を構築できる者
- ◆ 健康づくりに関心・興味があり、地域社会に貢献する意欲がある者

健康栄養学科	健康栄養学科では具体的に次のような学生を求めます。 ◆ 管理栄養士、栄養教諭などの資格に関心があり、資格取得に向けて意欲と向上心を持って、自主的に取り組める者 ◆ 食の専門家として、保健・医療・福祉・食品産業などの分野で教育や指導、栄養管理を通して、地域に貢献したいという希望と意欲を持っている者 ◆ 食や健康・栄養について科学的に研究したい者
保育健康学科	保育健康学科では具体的に次のような学生を求めます。 ◆ 子どもの健康な生活や遊びに関心・意欲を持ち、保育専門職に就くための情熱を兼ね備えた者 ◆ 保育スキル修得・コミュニケーション能力や保育研究力向上に努め、知識・技能を活かして社会貢献する意欲のある者
スポーツ健康科学科	スポーツ健康科学科では具体的に次のような学生を求めます。 ◆ 「身体」「心理」とそれを補完する「社会」の3分野を健康学の視点から幅広く学ぶ意欲のある者 ◆ 将来、スポーツ、医療・福祉、教育といった健康に関わる現場及び社会の様々な環境で活躍する意欲のある者 ◆ 常に自律的に行動し、自己の活躍の場を見いだす能力を身につけたい者
健康鍼灸学科	健康鍼灸学科では具体的に次のような学生を求めます。 ◆ 鍼灸師の仕事・国家資格に関心があり、その知識・技術の習得と資格取得に意欲のある者 ◆ 地域社会に関心を持ち、自らの知識・技術を基にした地域貢献への努力を惜しまない者 ◆ 鍼灸を基軸として健康・運動・疾病などについて科学的に研究したい者
健康柔道整復学科	健康柔道整復学科では具体的に次のような学生を求めます。 ◆ 柔道整復学に関心が深く、国家資格取得に強い意欲のある者 ◆ 医学に関する広範な知識と柔道整復学に関する手技を積極的に涵養し、社会貢献を惜しまない者 ◆ 伝統的医術の深化とその科学的発展のために努力する意欲のある者 ◆ 医療者としての高い職業倫理を身につけ、法令遵守の精神を涵養する者

奨学生へのチャレンジができます！

総合能力入試[高大接続型]は専願入試ですが、合格者は以下の **1**～**3** の条件のもとで合格の権利を有したまま、奨学生入試に限り出願することができます。

1 総合能力入試[高大接続型]の入学手続きを手續期間内に完了していること

2 奨学生入試は、出願期間内にネット出願にて出願すること

3 奨学生入試は、合格した学科にて出願すること

※ 振替等については、合格通知時に同封する「入学手続について」を必ず確認してください。
※ 奨学生入試の出願資格等の詳細は、「2026年度入学試験要項」を必ず確認してください。

奨学生入試

試験日	出願期間
2025年 12/6[±]	2025年 11/7^金 11/22 [±]

詳細は「総合能力入学試験要項」を確認してください。

常葉大学 浜松キャンパス

〒431-2102 静岡県浜松市浜名区都田町1230

〈お問合わせ〉入学センター

TEL 053-428-6736

E-mail nyushi@tokoha-u.ac.jp

公式サイト <https://www.tokoha-u.ac.jp>

受験生サイト
トコナビ <https://info.tokoha-u.ac.jp>

公式サイトは
コチラから▶



「トコナビ」は
コチラから▶



アクセス

JR 浜松駅	遠州鉄道バス 約50分	バス停 常葉大学正門
西鹿島駅	スクールバス 約45分(運行日注意)	
三ヶ日駅	天竜浜名湖鉄道 約15分	常葉大学前駅
	天竜浜名湖鉄道 約30分	徒歩 約7分
東名浜松西 IC	車 約20分	
東名三方原PAスマートIC	車 約20分	
新東名浜松いなさ IC	車 約30分	
新東名浜松SAスマートIC	車 約10分	

浜松キャンパス

健康プロデュース学部

2026

総合能力入試

[高 大 接 続 型]

入試ガイド

健康プロデュース学部

- 健康栄養学科
- 健康鍼灸学科
- 保育健康学科
- 健康柔道整復学科
- スポーツ健康科学科



常葉大学

高大接続活動に1回以上参加

総合能力入試〔高大接続型〕とは

学力の三要素を重視し、高校時代の取組(教科の成績、諸活動の実績など)、専門分野に対する興味・関心、学科への適性、学びの意欲などを、多面的かつ総合的に評価します。高校での学びを大学入学後の学修に円滑につなげるために、健康プロデュース学部が指定する「高大接続活動」に参加することが出願の条件となります。

2026年度 総合能力入試〔高大接続型〕スケジュール

※不測の事態が発生し特別措置を講ずる場合は、詳細を『トコナビ』の〔INFORMATION〕に掲載しますので確認してください。

STEP
1

高大接続活動Web申込開始

総合能力入試サイト

<https://info.tokoha-u.ac.jp/univ-admissions/classification/ao/>

必要事項を入力の上、送信してください。

〈対象〉受験者(高校1・2年生は申し込みできません)

2025 年

6/ 1 日

各学科の高大接続活動
申込フォームは
右ページQRコードから▶

STEP
2

高大接続活動（体験授業）

〈会場〉浜松キャンパス

高大接続活動の内容は右ページを参照してください。

健康プロデュース学部の高大接続活動

1回以上参加

高大接続活動参加証明書の発行

高大接続活動終了後、「**高大接続活動参加証明書**」を発行します。

2025 年

7/ 6 日

申込締切

6/30 月

受講日
7/26 土

申込締切

7/21 月

受講日
8/ 9 土

申込締切

8/ 4 月

※締切日当日の受付は16:00まで

STEP
3

課題レポート作成

レポート用紙は『トコナビ』からダウンロード

<https://info.tokoha-u.ac.jp/univ-admissions/classification/ao/#6>

高大接続活動に複数回参加した場合は、1つのテーマを選択し、出願書類に同封して提出してください。

レポート用紙は
コチラから▶



STEP
4

出願

必要書類を揃えて出願してください。

詳細は『トコナビ』にて総合能力入学試験要項を確認してください。

2025 年

8 / 29 金 ~ 9 / 11 木

消印有効

STEP
5

入学試験（面接）

※詳細は総合能力入学試験要項参照

2025 年

9 / 28 日

STEP
6

合格発表

2025 年

10 / 24 金

STEP
7

入学手続き

2025 年

10 / 24 金 ~ 11 / 14 金

STEP
8

入学前準備教育

学習意欲や目的意識を高め、4月からの学生生活をスムーズにはじめるために実施します。

詳細は『トコナビ』にて総合能力入学試験要項を確認してください。

高大接続活動（体験授業）について

志望する学科の高大接続活動に1回以上参加し、課題レポートを出願書類に同封して提出してください。

当日スケジュール

〈会場〉浜松キャンパス

注：高大接続活動の内容は、都合により変更になる場合があります。

受付開始時刻	9:15	集合時刻	9:50	高大接続活動（体験授業）	10:00～11:00（60分）	入試説明・資料配布	11:00～11:15
--------	------	------	------	--------------	------------------	-----------	-------------

	7/ 6 日	7/26 土	8/ 9 土
健康栄養学科	授業タイトル 機能的表示食品とは何か？ 2024 年、機能的表示食品「コレステヘルプ」による健康被害が問題になりました。この授業では、機能的表示食品とは何か、トクホ（特定保健用食品）との違いを含め、この問題について考えます。 担当教員 清水 正則	授業タイトル 栄養のプロフェッショナルについて考える さまざまな分野で働く管理栄養士・栄養士の事例から、現在の栄養課題に対して、専門家としてどのように関わっているのか、その取組について紹介します。事例を通じて栄養の専門家を目指すことの意義を考えます。 担当教員 三浦 綾子	授業タイトル 酵素のちから 酵素は、体の中で食べ物の消化や吸収、代謝など生命を維持するためにあらゆる活動に使われています。どんな種類の酵素があるのか、どんな働きをするのかを知ることで、その必要性を考えます。 担当教員 杉浦 千佳子
保育健康学科	授業タイトル 子どもの主体的で豊かな造形表現を育むには 子どもの主体的で豊かな造形表現を育むためには、どのようなことが大切になるでしょうか。この授業では、身近にある素材を取り上げ、その特徴を感じながら見立てたり表したりする活動の体験を通して、この課題について考えます。 担当教員 畠山 智宏	授業タイトル 子どもたちの育ちを支える保育者に必要なこと 保育者は、その子らしい人生を生きるための基盤づくりをお手伝いします。子どもたちを支えられる保育者になるには、苦手なことを強みに変えるような学びや体験が大切です。この授業では、保育専門職になるための「自分の強み」の活かし方について考えます。 担当教員 木山 幹恵	授業タイトル 子どもの育ちにおいて「友だちとぶつかる経験」が持つ意味 子どもが「人と関わる力」を身につけていく過程において、友だちとぶつかる経験はとても重要な意味を持っています。この授業では、具体的な場面を取り上げながら、その意味を考えます。 担当教員 羽田野 真帆
スポーツ健康科学科	授業タイトル スポーツにおける動機づけと指導者の心理・役割 心理学の観点からスポーツ参加の動機づけと意欲の高め方を理解します。スポーツ指導者の心理と役割の基礎を学び、体育・スポーツの場面で効果的な指導姿勢や心理サポートを考えます。 担当教員 松瀬 留美子	授業タイトル これからの学校教育とスポーツ 時代とともに学校教育の目標が変容し、体育の内容や指導方法も変化してきました。今後、部活動の地域展開など地域スポーツとの連携が予想される中で、スポーツの価値や健康について考えます。 担当教員 宮本 宗明	授業タイトル パラスポーツの世界へようこそ！ パラスポーツの意義や理念、歴史を通し、多様性社会の実現に対する知識や理解の重要性を学びます。「障がい者に対するスポーツの役割」「出来ないことより出来ることに注目」がキーワードです。 担当教員 小西 真幸
健康鍼灸学科	授業タイトル スポーツ鍼灸と美容鍼灸 鍼灸治療がスポーツと美容に応用される理由を学びます。また、経穴（いわゆるツボ）を用いたスポーツと美容に関するセルフケア方法を学びます。 担当教員 村上 高康	授業タイトル 健康とスポーツのための鍼灸 鍼灸の基本技術を体験し、スポーツ障害のケアや予防、健康維持に役立つ実践的な知識を学びます。 担当教員 沢崎 健太	授業タイトル 美容のための鍼灸基礎知識 美容分野で鍼灸を活かすことを目的に、顔の経穴（ツボ）を中心として、心と身体をケアするための基礎知識を学びます。 担当教員 藤田 格
健康柔道整復学科	授業タイトル 運動器リハビリテーションの組立て 運動器とは、身体運動に関わる骨、筋肉、関節、腱などの総称であり、これらのいずれかに障がいが生じると、効率的な運動が難しくなります。この授業では、運動器リハビリテーションをどのように進めるべきかを学び、実際の臨床場面で適用するための理解を深めます。 担当教員 大塚 博史	授業タイトル 柔道整復師のわざ“身体矯正”ーインナーマッスルによる矯正を体験！ー 柔道整復の臨床では、身体のゆがみ矯正による身体能力向上に注目が集まっています。この授業では、身体にゆがみをもたらす主な要因である骨盤部について解説します。さらに、スポーツ選手に対する柔道整復師の実践を紹介します。 担当教員 柏崎 保昌	授業タイトル 後療法実習（ストレッチと手技療法） 柔道整復師の仕事にはケガの処置（整復・固定）だけではなく、ケガをした後のケア（後療法）も含まれています。この授業では、臨床現場で実際に行う後療法について、座学と実習を通して学びます。 持ち物 ジャージ等、動きやすい服装
	担当教員 大塚 博史	担当教員 柏崎 保昌	担当教員 中井 真悟